

3-38 【参考：施設一覧表に記載しているデータ・ポートフォリオ分析方法・解釈の方法】

3-38-1 施設一覧表に掲載しているデータについて

第二章の施設一覧において掲載しているデータの見方・算出方法は下記の通りです。

供給・財務に関するデータは平成 24 年度から平成 26 年度の 3 か年度の実績値の平均値を用いています。

視点	項目	見方・算出方法
基礎情報	施設用途	・当該施設の用途分類を示しています。再編計画はこの用途に作成します。また現状分析もこの用途ごとに行います。
	占有面積 (㎡)	・当該施設として供用・使用している面積です。複合施設でなく、単独施設の場合は延床面積が入力されています。
	圏域	・当該施設の想定利用圏域を示しています。広域は全市域・市外からの利用を、地域は本計画に示す地域(5地域)からの利用を、地区はさらに細かいコミュニティ・自治会単位での利用を想定しています。
品質	築年数	・当該施設の築年数を示しています。学校など複数の築年数が異なる建物を有する施設については、面積での加重平均値を示しています。
	耐震対応率 (%)	・当該施設の耐震化対応済みの建物の面積割合を示しています。新耐震基準(1981年以降に整備)の建物、および旧耐震基準(1981年以前に整備)の建物であっても耐震化を実施しているものについては耐震化対応済みと判断しています。
供給	部屋の利用率 (%)	・当該施設において市民に貸し出しを行っている部屋ごとの利用率の平均値を示しています。 ・部屋ごとの利用率は、利用コマ数/利用コマ数として、年度ごとの実績を用いて算出しています。 ・ホールについては、会議室等は含まず、ホールのみ利用率を示しています。同様に体育館についても会議室や更衣室などの利用率は含まず、体育館や小体育館のみで算出した値を示しています。 ・その他の用途は、貸し出ししている全ての部屋の平均値を算出しています。
	書籍の稼働率 (%)	・年間の貸出冊数/蔵書数により算出しています。
	充足率 (%)	・定員が設定されている施設における、入会人員数/定員数を示しています。 ・保育園であれば、園児数/定員数となります。
	1日あたり利用者数	・年間利用者数/年間開館日数により、1日あたりの利用者数を示しています。
	園児数	・保育園、幼稚園の園児数を示しています。
	児童・生徒数	・学校の児童数、生徒数を示しています。
	職員一人あたり面積 (㎡/人)	・当該施設に勤務する市職員一人あたりの占有面積を示しています。この値が大きければ大きいほど、スペースに余裕がある、と判断できます。
	利用者一人あたり面積 (㎡/人)	・1日あたり利用者数一人あたりの占有面積を示しています。この値が大きければ大きいほど、スペースに余裕がある、と判断できます。
	児童・生徒一人あたり面積 (㎡/人)	・当該学校に通う児童・生徒一人あたりの占有面積を示しています。この値が大きければ大きいほど、スペースに余裕がある、と判断できます。
財務	面積あたり市負担額 (千円/㎡)	・占有面積1㎡あたりの市負担額を示しています。 ・同種施設で比較し、相対的に高コストと捉えられる施設を抽出することができます。
	市負担額	・市負担額は、当該施設における市の支出総計+指定管理料(指定管理者制度を導入する施設のみ)-市の収入により算出されています。 ・市の支出は、光熱水費、修繕費等施設に係るコスト、事業運営に係るコストおよび職員人件費が含まれます。 ・市の収入は、使用料収入や賃借料収入等が含まれます。
	職員一人あたり市負担額 (千円/人)	・当該施設に勤務する市職員一人あたりの市負担額を示しています。 ・同種施設で比較し、相対的に高コストと捉えられる施設を抽出することができます。
	利用者一人あたり市負担額 (千円/人・日)	・利用者一人あたりの市負担額を示しています。 ・同種施設で比較し、相対的に高コストと捉えられる施設を抽出することができます。
	園児一人あたり市負担額 (千円/人)	・園児一人あたりの市負担額を示しています。 ・同種施設で比較し、相対的に高コストと捉えられる施設を抽出することができます。
	児童・生徒一人あたり市負担額 (千円/人)	・児童・生徒一人あたりの市負担額を示しています。 ・同種施設で比較し、相対的に高コストと捉えられる施設を抽出することができます。

3-38-2 ポートフォリオ分析方法・解釈の方法

ポートフォリオ分析は同種施設において相対的に、老朽化や安全性の面で懸念のある施設（品質の視点）、および利用が少ない、または高コストで運営されている施設を抽出することができる分析手法です。

品質（ハード）の視点では、全用途共通で、老朽度を表す指標として築年数を、施設の安全性を把握する指標として耐震対応率を設定します。

供給・財務（ソフト）については、用途ごとに施設の現状をよく表すと判断できる指標を設定します。

【分析の手順1】

- 各指標を偏差値※として算出し数値化した上で、品質（ハード）と供給・財務（ソフト）に分類、それぞれの偏差値の平均値を算出します。

【分析の手順2】

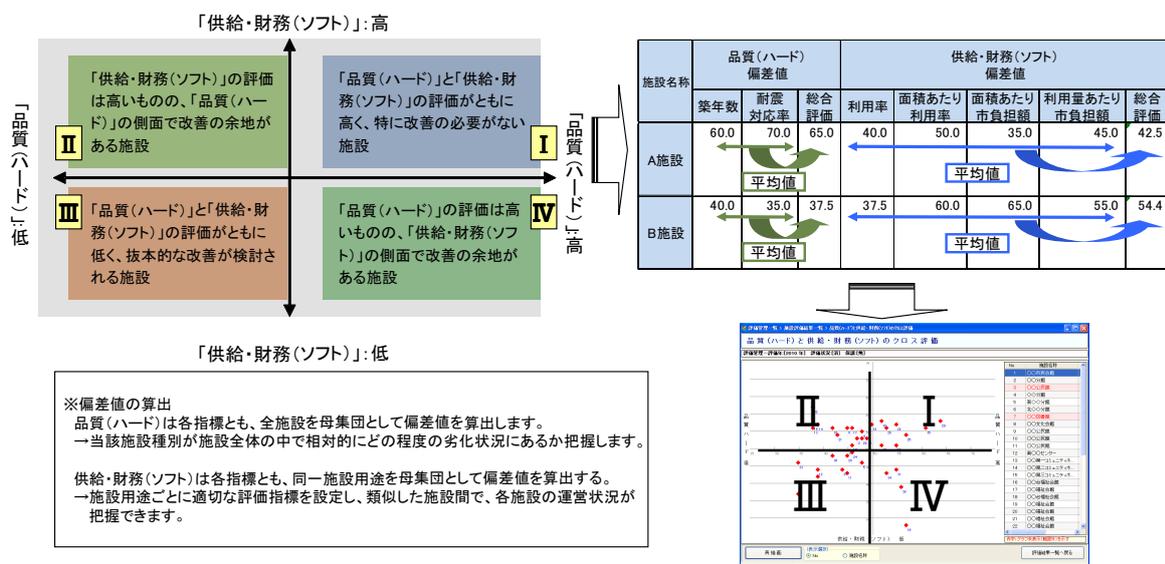
- 上記の過程により品質（ハード）、供給・財務（ソフト）それぞれの得点が偏差値として算出され、各施設のおかれた状況を可視化することが可能となります。

【分析の手順3】

- それぞれを2軸のグラフにプロット（描画）し、今後の整備の方向性を検討するための基礎資料とします。

【結果の解釈】

本分析は、設定した指標に基づき、機械的に算出された結果を示したものであり、あくまでも施設の将来の方向性を検討するための一資料として位置づけます。従って、品質、供給・財務ともに偏差値が50を下回る、「Ⅲ」に分類される施設であっても、諸処の状況を総合的に判断し、「存続」となる場合もあります。逆にその他の分類に属される施設であっても総量削減の候補施設となることもあります。



各用途に設定している指標体系は下記の通りです。

評価分類	ポートフォリオの評価指標・データ			備考
	ハード	ソフト (上段:供給、下段:財務)	使用している アンケートのデータ	
庁舎	築年数・耐震対応率	職員一人あたり面積	職員数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		職員一人あたり市負担額	職員数 占有面積	
出張所	築年数・耐震対応率	職員一人あたり面積	職員数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		職員一人あたり市負担額	職員数 占有面積	
消防庁舎・消防出張所 ・その他消防	築年数・耐震対応率			
ホール	築年数・耐震対応率	利用率	利用コマ数 利用可能コマ数	メイン機能であるホールの利用率で計算
		一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
公民館	築年数・耐震対応率	利用率	利用コマ数 利用可能コマ数	全室(会議室、研修室、料理室等)で計算
		利用者一人あたり面積	年間利用者数 年間開館日数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
地域コミュニティ施設等	築年数・耐震対応率	利用率	利用コマ数 利用可能コマ数	
		利用者一人あたり面積	年間利用者数 年間開館日数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
その他集会	築年数・耐震対応率	利用率	利用コマ数 利用可能コマ数	全室(会議室、研修室、料理室等)で計算
		利用者一人あたり面積	年間利用者数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
図書館	築年数・耐震対応率	書籍の稼働率	年間貸出冊数 蔵書数	
		一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	年間利用者数を追加で収集
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
美術館	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
その他展示保存	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
体育館	築年数・耐震対応率	利用率	利用コマ数 利用可能コマ数	メイン機能である体育館・小体育館の利用率で計算
		一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
その他スポーツ	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
宿泊・キャンプ場	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
その他観光	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
温泉	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	

評価分類	ポータルサイトの評価指標・データ			
	ハード	ソフト (上段: 供給、下段: 財務)	使用している アンケートのデータ	備考
市営住宅等	築年数・耐震対応率			
保健・健康増進	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
障がい者福祉	築年数・耐震対応率	利用率	利用コマ数 利用可能コマ数	全室(会議室、研修室、料理室等)で計算
		一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
高齢者福祉	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
保育所	築年数・耐震対応率	充足率	園児数 定員数	
		園児一人あたり面積	園児数・入会児童数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		園児一人あたり市負担額	市(市民)負担額 園児数・入会児童数	
児童館	築年数・耐震対応率	児童一人あたり面積	年間利用児童数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		児童一人あたり市負担額	市(市民)負担額 1日あたり利用者数	
子育て支援センター	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者一人あたり面積	年間利用者数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 1日あたり利用者数	
児童クラブ	築年数・耐震対応率	充足率	園児数 定員数	
		児童一人あたり面積	園児数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		児童一人あたり市負担額	市(市民)負担額 1日あたり利用者数	
幼稚園	築年数・耐震対応率	園児一人あたり面積	園児数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		園児一人あたり市負担額	市(市民)負担額 園児数	
小学校	築年数・耐震対応率	児童一人あたり面積	児童数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		児童一人あたり市負担額	市(市民)負担額 児童数	
中学校	築年数・耐震対応率	生徒一人あたり面積	生徒数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		生徒一人あたり市負担額	市(市民)負担額 生徒数	
高等学校	築年数・耐震対応率	生徒一人あたり面積	生徒数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		生徒一人あたり市負担額	市(市民)負担額 生徒数	
その他教育	築年数・耐震対応率			
公設市場	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		市負担額	市(市民)の収入 市(市民)の支出	
その他産業振興	築年数・耐震対応率	一日あたり利用者数	年間利用者数 年間開館日数	
		利用者あたり市負担額	市(市民)負担額 一日あたり利用者数	
農林水産業	築年数・耐震対応率			
公園(公園便所含む)	築年数・耐震対応率	職員一人あたり面積	職員数 占有面積	
		面積あたり市負担額	市(市民)負担額 占有面積	
		職員一人あたり市負担額	職員数 占有面積	
清掃・環境	築年数・耐震対応率			
書庫・倉庫	築年数・耐震対応率			
駐輪場	築年数・耐震対応率	市負担額	市(市民)の収入 市(市民)の支出	
その他	築年数・耐震対応率			